

道路ストック総点検について

柏原市都市整備部
平成25年9月

道路ストックについて

道路ストックとは、これまでに整備を行ってきた

- ・道路の舗装
- ・道路橋
- ・道路附属物(照明、標識、横断歩道橋)
- ・トンネル など

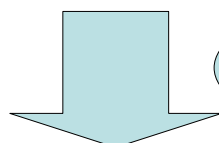
(その他に、擁壁、法面、情報板など)

総点検の背景及び目的

社会資本整備審議会

社会資本メンテナンス戦略小委員会

・今後の社会資本の維持管理・更新のあり方についての検討



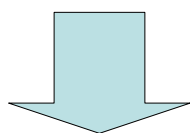
昨年12月に発生した
中央自動車道笹子トンネル
天井板落下事故

トンネルだけでなく、道路ストック全体で落下、倒壊による第三者被害の防止の観点(重大事故防止を含む)から点検を実施する

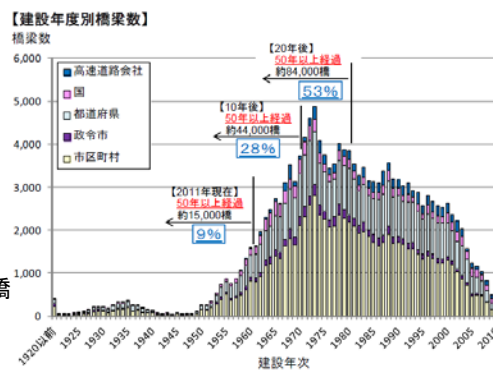
3

現状と課題

高度成長期に整備した橋りょうが50年以上経過することになるなど、道路ストックが老朽化し、補修工事や架替えが増加するものと想定される



本市においても
ほぼ同様の状況
(例: 架設後50年以上の橋りょう8橋
⇒ 今後増加する)



4

柏原市の道路ストック

道路延長	約195km
道路照明	782基
道路標識	59基
道路橋	133橋
横断歩道橋	4橋

※数量は市管理分で主なものについて
※国道や府道についてはそれぞれの管理者が行う

5

事業の内容

点検内容

- ・舗装(ひび割れ、わだちぼれ、凹凸、陥没)
 - ・道路照明、道路標識(支柱等本体、各部の接続部)
 - ・橋りょう(鋼部材の腐食、コンクリートのひび割れ)
- などを中心に行う。

点検方法

- ・総点検実施要領(案) 国土交通省道路局
 - ・橋梁定期点検要領(案) 国土交通省
- これらを活用する。

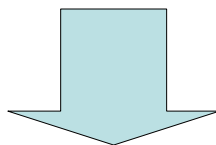
6

事業の内容

修繕計画

- ・補修工法の選定
- ・点検、補修の時期
- ・優先順位

点検結果に基づき検討を行い策定する。



計画的に補修を行うことで信頼性の向上やコストの削減を図る

7

予算・財源

今回の点検・計画策定

- ・国のH24年度補正予算
- ・防災、安全社会資本整備交付金

今後の計画補修

- ・修繕計画を策定し、計画的に点検、補修を行って
いくものについては、防災・安全社会資本整備交
付金を活用していく

8

継続的な維持・補修

PDCAサイクルの導入

